



Faith to Face
いい顔に逢いたくて。

株式会社フェイス

第19期(上期) 営業のご報告

Faith, Inc. Semiannual Report

2010.4.1 ~ 2010.9.30



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)

公告方法 電子公告
<http://www.faith.co.jp/ir/koukoku/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)

免責条項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



Faith IR Mail

フェイスの最新情報をお届けします。

IR関連情報をE-mailで無料配信しております。
プレスリリース等の発表とほぼ同時に、
月に2~3回程の頻度で送信申し上げます。

ご登録はこちらから
<http://www.faith.co.jp/ir/mail.html>

株式会社フェイス Faith

〒604-8171
京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル
<http://www.faith.co.jp/>
お問合わせ先
TEL.075-213-3933 FAX.075-213-3833



株主の皆様へ

当第2四半期連結累計期間においては、パソコンや携帯はもとより、スマートフォンや電子書籍端末等の通信機器の進化と普及に伴い、場所や時間を問わずにコンテンツを利用できる環境が整いつつあります。こうした環境の変化を受け、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やソーシャルゲーム、動画共有サイト等、新たなニーズを掘り起こしたサービスが台頭してきています。コンテンツ市場でも、ネットワーク・ハードが進化する中で、情報伝達手段やユーザーニーズの多様化・複雑化が加速し、既存の枠にとらわれない新たなビジネスモデルの創出が求められています。

当社グループは、このような市場環境の変化に対し、コンテンツの企画・制作・プロデュースからプラットフォームの設計・構築・ユーザーへの配信、さらには課金までをワンストップで提供する「新たなコンテンツ流通のしくみ創り」が重要であると認識し、「マルチコンテンツ & マルチプラットフォーム戦略（様々なコンテンツを、見たいときに、見たい場所で楽しむことができる環境

の創造）」を積極的に推進しています。

こうした方針に基づき様々な施策を展開した当第2四半期連結累計期間の売上高は、電子マネー事業の引き続き高い成長により、前年同期比44.7%増の38,081百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比36.0%増の1,016百万円、経常利益は前年同期比56.9%増の1,082百万円となり、四半期純利益は前年同期比258.9%増の566百万円となりました。

【コンテンツ事業】

コンテンツを取り巻く環境が大きな変化を見せる中、「新たなコンテンツ流通のしくみ創り」と「新たな事業基盤の構築・拡大」に注力しました。音楽の分野では、テレビ・ネット・携帯を融合させた新発想の音楽番組「MusicBirth+」からヒット曲を創出しました。また、当社グループと米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル」が共同で設立した「ミュージック Short クリエイティブ部門」にて、新たにオンライン

プロジェクトを始動しました。さらに、音楽レーベル「Future」を立ち上げ、楽曲ダウンロードサイトに簡単にアクセスできる「コネクティングカード」の販売を、フェイス・グループとして開始しました。

コンテンツ事業の売上高は、前年同期比23.8%減の3,811百万円となり、営業利益は、グループ全体でのコスト削減等により、前年同期比5.2%増の407百万円となりました。

【電子マネー事業】

2010年6月末には、国内のブロードバンド・ネットワーク契約件数は3,355万件を超え※、電子マネー事業の主力であるオンラインゲームに加え、携帯向けゲーム・コンテンツ等が堅調に推移し、電子マネー「WebMoney」の決済額も順調に伸長しました。

決済額の増加を目指し、有力加盟店との共同キャンペーンの実施や携帯向けコンテンツサービスを提供する加盟店の新規開拓に注力しました。また、ネット上での広告視聴で「WebMoney」が貯まるCM動画配信サービス「manna(マナ)」に新機能を追加し、会員数増を実現しています。「WebMoney」は、キャリア課金（携帯料金との一括課金）以外で初めて、携帯公式サイト「GREE」、「GIGAッch（ギガッチ）」で利用可能となり、ユーザー拡大を促進しています。

電子マネー事業の売上高は、前年同期比62.7%増の33,677百万円、営業利益は前年同期比72.6%増の577百万円となりました。
※ 総務省報道資料「ブロードバンドサービスの契約数（2010年10月発表）」による。

【その他の事業】

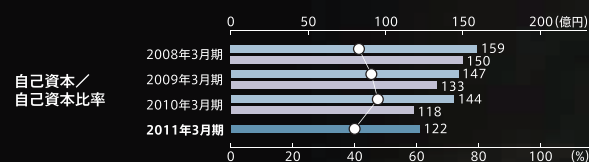
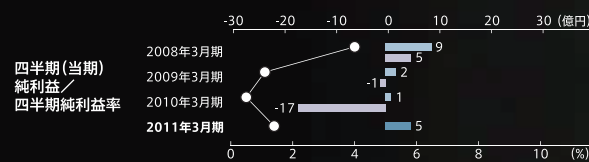
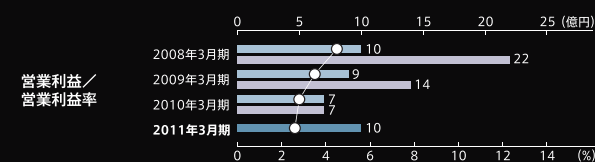
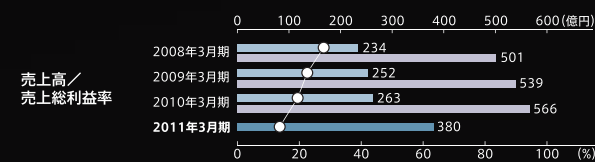
その他の事業については、ポイントカードシステム事業収入等により、売上高は593百万円となり、営業利益は37百万円となりました。

今後も「新たなコンテンツ流通のしくみ創り」を推進し、積極的に収益機会の拡大に取り組むとともに、さらなる需要増加が見込まれる電子マネー事業にも引き続き注力していきます。

代表取締役社長

平澤 創

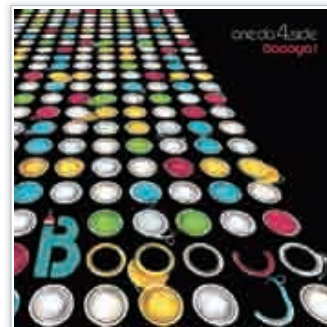
財務ハイライト(連結)



既存の枠にとらわれない新時代のサービスやビジネスモデルの創出を推進しています。

「MusicBirth+」から誕生したオリジナル楽曲が、着うた®配信サイトでデイリーランキング2位を獲得。

昨秋より当社とTBSテレビが共同で手がけるメディア融合型音楽番組「MusicBirth+」から生まれた楽曲が、着うた®配信サイトのクラブミュージックカテゴリで2位にランキングされ、CDを発売しました。従来に無い、テレビ・インターネット・携帯を融合させた「新たな音楽流通のしくみ」が着実に成果を上げています。



新レーベル「Future」がスタート。コネクティングカードで新たな音楽流通のしくみを構築。

音楽レーベル「Future」を立ち上げ、音楽との接点をユーザーへ多面的に提供する『360°戦略』を推進。フェイス、日本コロムビア、ウェブマネー、フェイス・ワンダワークスのグループ4社により、アーティストやアイドル等のコレクション性の高いカードから専用サイトにアクセスすることにより、楽曲や情報を簡単にダウンロードできる「コネクティングカード」の販売を開始しています。



コネクティングカード
新レーベルの第一弾作品は、阿久悠氏作詩の
プロ野球阪神タイガース応援歌「野球狂
～拝啓タイガース様」。

「ショートショート フィルムフェスティバル」と共同で、オンラインプロジェクトを始動。

米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル」と当社グループが共同で設立した「ミュージック Short クリエイティブ部門」において、オンラインプロジェクトを開始しました。公式サイト上で映像作品募集、受賞作品の発表・配信等を行うとともに、クリエイターと視聴者をつなぐコミュニケーション機能を設け、作品創りをサポートします。現在は、「clammbon」の楽曲(日本コロムビア)を使用した映像作品を募集しています。



公式サイト初「WebMoney」決済が採用され「GREE」「GIGAッch」にてサービス開始。利便性向上とユーザー拡大を推進。

従来、キャリア決済のみであった公式サイトにて、電子マネー「WebMoney」が初めてキャリア課金以外の決済手段として採用されました。まずは、約2,125万人の会員数を誇る「GREE」と会員数約300万人のフェイス・ワンダワークスの「GIGAッch」にて開始しています。公式サイトでの利用開始により、さらなる新規ユーザーの獲得を進めています。



フェイス・ワンダワークスが共同製作した映画「告白」が約292万人を動員する大ヒットを記録。

フェイス・ワンダワークスが、東宝等と共同製作した映画「告白」が今年6月に公開されました。観客動員数約292万人、興行収入約37億円を記録し、米国アカデミー賞・外国語映画賞部門の日本代表作品に選出されました。



©映画「告白」フィルムパートナーズ

CM動画配信サービス「manna」が好調。会員数19万人を突破。

2008年9月からウェブマネーとインターネット広告会社が共同で開始した、動画を視聴するだけで電子マネー「WebMoney」が貯まるCM動画配信サービス「manna」に検索機能を追加しました。また、様々な社会貢献活動から希望の活動を選択し、簡単に寄付ができるしくみも追加し、会員数は現在、19万人に達しています。



四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期 2010年9月30日現在	前期 2010年3月31日現在
資産の部		
流動資産	18,810	17,256
固定資産	11,858	12,701
有形固定資産	2,928	2,916
無形固定資産	1,336	1,860
投資その他の資産	7,593	7,924
繰延資産	1	4
資産合計	30,670	29,963
負債の部		
流動負債	15,459	15,108
固定負債	1,602	1,869
負債合計	17,061	16,977
純資産の部		
株主資本	12,273	11,764
資本金	3,218	3,218
資本剰余金	3,708	3,708
利益剰余金	5,998	5,489
自己株式	△651	△651
評価・換算差額等	△10	92
少数株主持分	1,346	1,129
純資産合計	13,608	12,985
負債純資産合計	30,670	29,963

四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期 2010年4月1日～ 2010年9月30日	前第2四半期 2009年4月1日～ 2009年9月30日
売上高	38,081	26,322
売上原価	32,813	21,159
売上総利益	5,268	5,163
販売費及び一般管理費	4,251	4,415
営業利益	1,016	747
営業外収益	159	60
営業外費用	93	117
経常利益	1,082	690
特別利益	4	157
特別損失	37	138
税金等調整前四半期純利益	1,049	709
法人税等	283	487
少数株主損益調整前四半期純利益	765	—
少数株主利益	198	63
四半期純利益	566	157

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期 2010年4月1日～ 2010年9月30日	前第2四半期 2009年4月1日～ 2009年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,737	2,980
投資活動によるキャッシュ・フロー	776	331
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,886	△1,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	20
現金及び現金同等物の増減額	1,602	2,262
現金及び現金同等物の期首残高	8,340	10,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,943	12,911

株式状況

発行可能株式総数	1,990,000株
発行済株式総数	1,196,000株
株主数	15,446名

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	470,097	40.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	60,856	5.30
ゴールドマンサックスインターナショナル	35,595	3.10
吉本興業株式会社	20,687	1.80
ドイチェンバンクアーゲー・ロンドンビー・ノントリティー・クライアント613	18,326	1.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,539	1.26
田中 治雄	13,781	1.20
大阪中小企業投資育成株式会社	9,800	0.85
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,556	0.65
日本証券金融株式会社	6,412	0.55

※持株比率は自己株式(47,950株)を控除して計算しています。
※持株比率は表示単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

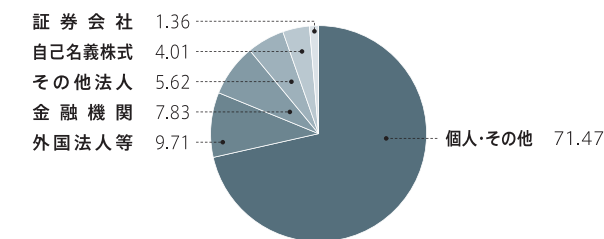
取締役および監査役

代表取締役社長	平澤 創
取締役	佐伯 浩二
取締役	小清水 勝
取締役(非常勤)	樋口 泰行 (マイクロソフト株式会社 代表執行役社長)
常勤監査役	清水 章 (公認会計士)
常勤監査役	土山 彰子
監査役	富岡 康真 (財団法人テレコムエンジニアリングセンター) テレック総合研究所 グループリーダー
監査役	菅谷 貴子 (弁護士)

※樋口泰行は、社外取締役であります。
※清水章、富岡康真、菅谷貴子の3名は、社外監査役であります。

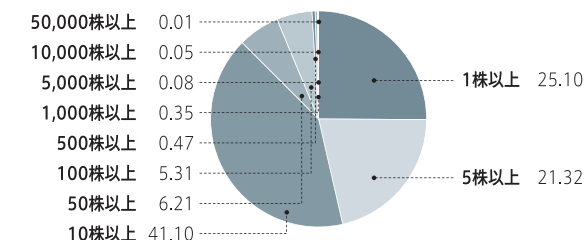
所有者別分布状況 (%)

※発行済株式総数 1,196,000株



所有株数別分布状況 (%)

※単元株のみ所有株主数 15,446名



アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

青木 利晴	株式会社NTTデータ シニアアドバイザー 株式会社NTTデータ 元相談役 株式会社NTTデータ 元取締役相談役 株式会社NTTデータ 元代表取締役社長 日本電信電話株式会社 元代表取締役副社長
南部 靖之	株式会社パソナグループ 代表取締役グループ代表
堀 裕	堀総合法律事務所 代表弁護士 内閣府 公益認定等委員会 委員 日本年金機構・文部科学省大臣官房総務課・ 日本郵政グループ(ゆうちょ銀行・郵便局会社等)各顧問弁護士 みずほグループ各社 顧問弁護士 国立大学法人千葉大学 理事・副学長 在日ロイヤルダッチシェルグループ各社監査役
山本 恵朗	財団法人みずほ国際交流奨学財団 理事長 株式会社みずほホールディングス 元取締役会長 株式会社富士銀行 元頭取